2015年4月5日発行　第1311号（毎月5・20日発行）昭和51年4月15日第3種郵便物認可

静岡ビジネスレポート
http://www.sb-report.net

Shizuoka Business Report

No.1311
4/5

旬／な／人

俵 史子

医療法人社団 俵IVFクリニック　理事長

Company File カンパニーファイル
株式会社 ヨシケイ

オトナの休息時間
[居酒屋] あおいヤ

Shizuoka Business Report

静岡ビジネスレポート 2015.4.5 No.1311

旬／な／人
俵　史子

正解がない不妊治療の世界
だからこそ、患者との
信頼関係構築が第1歩
「納得・理解して進む」が大切

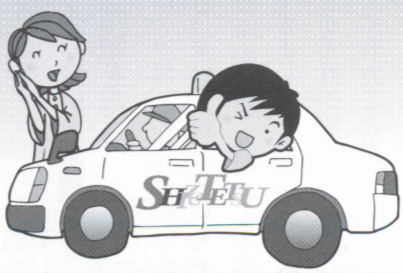
オトナの休息時間
［居酒屋］
あおいヤ

地域に愛される店舗を目指す
地元企業経営の居酒屋

CONTENTS

4 旬／な／人 **俵　史子** 医療法人社団 俵IVFクリニック　理事長
6 **Company File** ㈱ヨシケイ
8 **POSITION** 味の素ゼネラルフーヅ㈱ 名古屋支社 静岡営業所　杉田智之 所長
9 企業産業レポート
23 経営革新計画承認企業一覧
24 **セミナーイベント情報**
26 創業記念を迎える企業
28 **女性たちの"かしまし"トーク　Relay第198走者**
田中志保さん　シングルペアレント101　代表
男たちのリレーエッセイ"わたしの本棚"　Baton198
大石歩真　NPO法人クロスメディアしまだ　理事長
29 新法人紹介
30 企業倒産など信用情報
32 ビジネス法務　司法書士への質問状
33 **Spotlight**『平成27年度 藤枝YEG会長予定者 伊藤欽一氏に聞く』
34 新連載 シリーズ 輝く静岡『朝鮮通信使❶』
～歴史・文化の再発見～
36 新商品紹介
37 **輝く女性** 一般社団法人静岡市静岡医師会 健診センター MEDIO 総務部業務課　宮北祐理子さん
38 オトナの休息時間　［居酒屋］**あおいヤ**

静鉄グループ
大切なお子様の送迎に、お母さんも安心！
おけいこタクシー



POINT 1 登録制だから便利・・・・・
・一度登録すればご自宅、おけいこ先に直行します
・お支払いは都度、月払いが選べます
・ご登録だけでもお気軽に

POINT 2 いざという時に安心・・・
・当日の急な依頼もOK
・早朝から夜遅くまで対応
・全車GPS搭載（車両の位置を常に把握しています）

POINT 3 おけいこ先も安心・・・・・
・時間通りにタクシーがお迎えにあがります
・お子様がおけいこ先に入るまで見守りします

静鉄タクシー株式会社　＜静岡＞054-281-5111 ＜清水＞054-352-3100 ＜藤枝＞054-641-0010

世界規模で広がっているといわれる不妊症。少子高齢化と同時に晩産化が進んでいる日本の状況はとても深刻で、不妊症に悩む夫婦が増えている。俵IVFクリニックは、県内最大級の不妊治療専門医院。開院以来、約7年間で約3000組の、子どもに恵まれなかった夫婦の妊娠を成立させている。これは常勤医師が1人という環境下では、全国的に見ても驚異的なペースだという。3月にはより充実した設備と体制を整えた新医院をオープンした。今後は不妊症の予防へ、啓発活動にも力を入れていく。俵 史子理事長に、不妊治療への強いこだわりを聞いた。

旬／な／人

俵 史子

医療法人社団 俵 IVF クリニック　理事長

正解がない不妊治療の世界
だからこそ、患者との信頼関係構築が第1歩
「納得・理解して進む」が大切

不妊治療の偏見
患者とのふれ合いと実績を積み重ね信頼を得る

同クリニックは、今年で開院8年目を迎える。「産婦人科医として、それまで数カ所の産婦人科のある病院に勤めてきました。その中のある病院の先生が不妊治療について厳しく指導してくれたことがきっかけでこの道を進むことにしました。不妊治療は特殊な分野で、専門知識を持った人と特別な設備をそろえないとできません。当時、県内中部地区ではそこまで特化した医院がなく、不妊治療を受けたい人は、遠方まで行かなければいけませんでした。そういった方々の受け皿になりたいという思いもありました」。開院するのに不安はなかったのか。「経験を積んできたので不妊治療に対する自信はありましたが、開院当初はまず患者さま自身が抵抗感というか、高い壁を感じているのがわかりました。人工授精や体外受精などの治療を差別的にみたり、また同業ともいうべき産婦人科医の中にも、不妊治療を評価しないという医師もいます。なので、まずは患者さまに理解していただく努力を重ね、実績をコツコツと積み上げながら、学会でも積極的に発表しました。そうしていくうちに、不妊治療は、今の世の中に必

要だと理解を深めていただいたと思っています」。そして開院以来、約7年間で約3000組の妊娠を成立させている。1人の常勤医師の医院では、全国的に見ても驚異的なペースを維持している。

不妊治療の特徴は「オーダーメード治療」患者との対話で見い出す

不妊治療は「妊娠」という明確な結果が求められる反面、夫婦ごとに不妊の要因が異なる点が特徴のひとつといえる。「不妊治療に〝これが正解〟はありません。一つのやり方に固執し結果を出すのではなく、その人に何が適しているのかを判断して治療をする〝オーダーメード治療〟が当医院の特徴です。一つの治療をすすめるにも、患者さまの言葉を大切にしています。対話の中で求めているものを探り、着地点を見い出していくのです。患者さまに方向性を委ねるのではなく、こちらからも治療の道筋を立てて、選択肢を示してあげる。そのバランスを保つことが重要だと思っています」。しかし、そういった対話の中で情報に振り回されている人が非常に多いと感じるという。「治療を受ける人は真剣です。不安もある中で来ていただいています。当然、不安だからこそ、インターネットなどで治療について調べてくる人が多いのですが、間違った情報に振り回されているケースが非常に多いのです。中には〝友達がこれで妊娠したから〟という感覚で来る人もいます。私はその人に合った的確な情報を提供し、不安を取り除くことから始めます。時間をかけて対話を重ねると患者さまも変わってきます。〝納得・理解して進む治療〟を心掛けています」。

新医院は、不妊治療の成功を高める環境・技術にこだわり

3月に新しい医院がオープンした。新施設は、どこに重点を置いたのか。「1人でも多くの人に、子どもを授かってもらいたいという気持ちでつくりました。不妊治療の根幹である環境と技術に配慮した施設となっています。まず不妊治療の成功を高めるために最も重要な培養室の設備に力を入れました。ここは身体から卵を取りだし育てる場所です。培養室は最新の培養器に温度、湿度、クリーン度を保つ設備も充実しています。そのほかスタッフが仕事をしやすいように、また患者さまに来ていただいたときにリラックスしていただく空間にしました」。また今後は、不妊症になる前の〝予防医学〟も視野に入れた活動を展開したいという。「不妊症には、治療を受けないと妊娠できない人もいれば、体質改善すればできる人もいる。また年齢で不妊症になってしまう人もいます。その前に気付いていれば、予防になるのです。子どもが欲しい人が後悔しないために必要な情報提供も私たちの仕事だと思っています。不妊治療が必要なのか、そうでないのか、判断がつかない人にも当院に気軽に来てもらえるようにしたいですね」。

成功の喜びを糧に、また頑張っても失敗したときの苦しみを乗り越えて

開院して間もなく、ここの治療で生まれてきた子はもうすぐ小学生になる。「家族を増やすことのお手伝いができたということは、これ以上ない喜びで、さらなる糧となり生きがいとなっています。しかしときには結果がでないことも。力になれず本当に申し訳ないという気持ちになります。年齢の関係で断念せざるを得ない人もいます。常に喜びと苦しみ、やりがいとプレッシャーの繰り返し。ストレスで押し潰れそうになるときもありますが、この仕事のやりがいは、誰もが経験できるものではないと思っています。『やり遂げたい』という強い気持ちで日々過ごしています。高い技術と人に寄り添う気持ち、そしてタフな精神を持って、これからも納得のいく最大限の努力を続けていきたいと思っています」。

■略歴

俵　史子（たわら ふみこ）

徳島県三好市出身。徳島県立池田高等学校卒。浜松医科大学医学部医学科卒。浜松医科大学付属病院、厚生連遠州病院、静岡厚生病院の産婦人科勤務などを経て、愛知県竹内病院トヨタ不妊センター所長として約5年間不妊治療にたずさわる。平成19年9月「俵史子IVFクリニック」を開設。平成24年3月に「医療法人社団 俵IVFクリニック」へ名称変更し、理事長に就任。現在に至る。平成27年3月、静岡市駿河区泉町に新医院をオープンさせた。